

信州大学医学部神経難病学教室の研究に
ご登録戴いたご家族の方へ
当教室における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年4月3日

「**神経変性疾患**:筋萎縮性側索硬化症とパーキンソン認知症、**ポリグルタミン病**、**多系統萎縮症**および**アルツハイマー病**の発症機序に関する病理学的研究」(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5108
課題名	神経変性疾患:筋萎縮性側索硬化症とパーキンソン認知症、ポリグルタミン病、多系統萎縮症およびアルツハイマー病の発症機序に関する病理学的研究
研究機関	信州大学、新潟大学、諏訪赤十字病院、諏訪中央病院、長野赤十字病院、まつもと医療センター、富士見高原病院、相澤病院、北信総合病院、長野松代総合病院、ユトレヒト大学(オランダ)
研究責任者	信州大学医学部(神経難病学教室、小柳清光)
研究実施期間	倫理委員会承認日～令和7年3月31日
研究の意義、目的	筋萎縮性側索硬化症とパーキンソン認知症、ポリグルタミン病、多系統萎縮症およびアルツハイマー病の発症メカニズムの解明による疾患克服
対象患者様	1979年以降、上記の機関および米国国立衛生研究所グアム研究センターで剖検された症例。
利用検体	病理検体、臨床および病理データ
利用カルテ情報	診断名、年齢、性別、臨床診断名など
その他	

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部神経難病学教室
担当者 **小柳清光** (電話: 0263-37-3185)